

一般質問

一連の関係事業を問う

6月定例町議会

6月定例町議会では、4議員が一般質問を行いました。特に工業団地等の開発事業に質問が集中し、早期実現に熱い期待が寄せられました。

工業団地とゴルフ場

工業団地とゴルフ場の関係事業を進めているが、現状と今後の見通しについて伺いたい。

横芝工業団地は、昭和46年県が空港建設に伴う騒音対策の一つとして大総地区に指定したものの、計画面積の半分程度しか買収が進まず、長い間虫食い状態のまま放置された。

その間、県や町では種々対策を講じたものの解決には至らず、困窮していたところ、民間企業からゴルフ場をからめでの工業団地とりまとめ案が持ちかけられた。

県町では慎重に検討した結果、永年の懸案である工業団地の実現のため、ゴルフ場との複合開発としてこれを認めるに至った。現在工業団地は、地権者の皆さんの協力で約80%が買収済となっているが、残りのほとんどが代替希望のため、本人の希望と合致さえすればまとまる見通しである。

また、ゴルフ場は事務手続きの話に入っているが、環境保全の見地から多くの規制があり、時間を要しているが、指摘事項のほとんどは解決したと報告をうけている。

懸案の工業団地は、ゴルフ場との複合開発により、ようやく実現の運びとなるようだが、民間企業に任せ切りではないのか。町は総力を傾注して、この問題に取り組むべきではないか。

横芝の将来を決定するよう大きな問題である工業団地の実現に対し、町は決して1企業に任せ切りではない。しかし、用地買収については、民間企業の方が能率が良く、十分自信を持っている。用地問題は、未買



坂田池 改修工事に入る

取地の交換要件さえ整えば、解決すると思う。

坂田池周辺開発

坂田池周辺開発では、約2町歩の買収計画があるということだが、今後の見通しをお尋ねしたい。

また、坂田遠山線が坂田池に通じるが、国道126号線方面への延長についての考えは。

用地買収は本年4月から折衝を重ね、現在まで地権者15名中14名の同意を得ている。用地のメドがつけば、水資源公園に対して設計を進めさせ、工事に着手させる。公園整備については町が行うが、多額の費用がかかるので、目下策定中の都市計画の中へ組み込み、補助事業として実施していく意向だ。

坂田遠山線は、本町を経て栗山中央道に結び、海岸までつなげるのが長期構想である。

福祉対策

町内の障害者数はいくつあるのか。障害者に対する養護制度にはどのようなものがあるか。また、制度の周知はどのように行われているか。

肢体不自由者など身体障害者手帳の交付を受けている者は284名（児童10名）、精神薄弱者70名のうち養育手帳の交付を受けている者は41名（児童10名）である。

障害者に対する諸制度のうち町で行っているものには、重度心身障害者医療費助成と在宅重度精神薄弱者及びねたきり身体障害者福祉手当の支給がある。国・県の制度には、特別児童扶養手当（町内該当者16名）、心身障害者扶養年金制度がある。税制面では、所得税、地方税等に控除があるほか、重度障害者、下肢障害者等の自動車取得税については全額免除される。その他公営住宅入居の優遇、国鉄、航空運賃の割引等がある。各種制度の衆知方法は、国・県・町の制度的なものについては、役場の窓口案内及び個人通知をしている。なお、手帳には「援護のしるべ」として記載されている。また、別途町の身障福祉会を通じて、会員及び障害者に説